



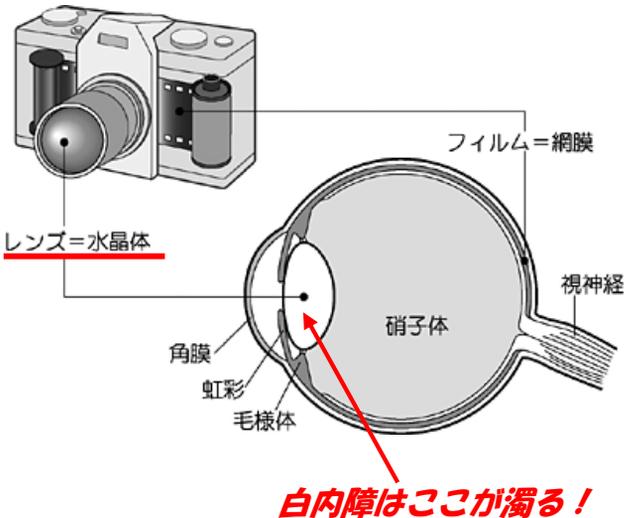
ひとみすこやか



とだ眼科通信 vol 9 2016 7

白内障と当院における日帰り手術について

白内障ってどんな病気なの？



ヒトの目はよくカメラに例えられます。左図の赤線で示したレンズに当たる部分が水晶体で、直径9mm、高さ4mmの凸レンズです。見ている画像の光を集めて網膜にピントを合わせさせる役割があります。

この水晶体が濁るのが白内障です。本来透明な水晶体が濁ることにより、様々な症状が自覚されていきます。

最初は光がまぶしく感じ、ものがにじんで見えてきます。進行するとものがダブったり、かすんで見えます。最終的には極端な視力低下となり、ものがほとんど見えなくなってしまいます。

軽症←

→重症



正常な見え方



白内障の見え方



霞がかって見える



乱反射で眩しく見える

白内障の原因は？

さまざまな原因で起こりますが、最も多いのは加齢によるもので「加齢性白内障」と呼んでいます。かなり個人差がありますが、多くは50歳を過ぎると始まり徐々に進行します。

その他、アトピー性皮膚炎や糖尿病などの全身疾患や打撲などの外傷、放射線や薬の副作用などで生じます。

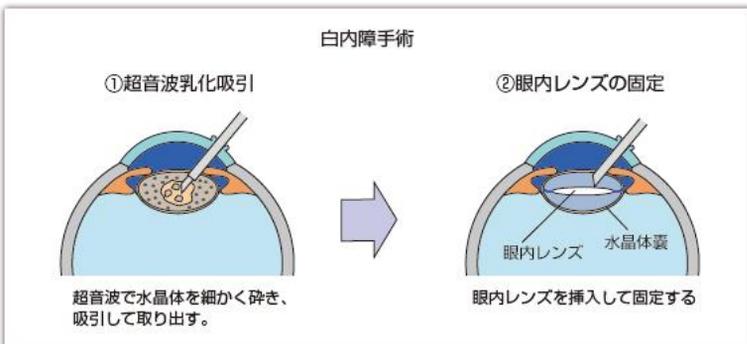
どんな治療をするの？

日常生活に支障がなければ、点眼薬にて進行予防につとめます。ただし水晶体の濁るスピードを遅くするだけで、混濁を取って視力を回復させることは出来ません。

白内障が進行して、生活に不自由を感じる事が多くなったら手術が唯一の治療となります。

● 白内障手術について

近年の医療の進歩で、現在白内障手術はかなり安全性が高い手術となっています。目薬による局所麻酔で通常20分前後で終了します。約3mmの小さな傷口から超音波で濁った水晶体を破壊・吸引して取り除き、人口のレンズ(眼内レンズ)を挿入します。



● 当院での白内障手術について

昨年秋より、院内手術施設を設置し全身状態に大きな問題のない方に対して以下の流れで日帰りにての手術を行っています。

1. 詳細な診察による手術適応の決定
2. 血液検査・かかりつけ主治医との連絡
3. 上記結果にて手術の決定および眼内レンズの度数設定
4. 動画も用いた手術の詳細、合併症についての説明会
5. 手術執刀

手術当日は休憩の後、眼帯をしたままお帰り頂き自宅安静、翌日の診察時に眼帯を外します。その後ほとんどの場合で眼帯は不要となり、早期に視力改善を自覚していただけます。術後は3日程度連日で、その後1ヶ月までは1週間おき、その後1ヶ月に1度の頻度で1年程度経過観察させていただきます。

● 術後の生活について

軽い家事 当日夜～ 入浴 翌日～
就業(事務)、車の運転 3日目～
洗顔、自己洗髪、自転車の運転 7日目～
水泳などスポーツ 1ヶ月目～



とだ眼科の白内障手術機器

● 費用について

大まかな目安ですが、術前検査と合わせて
1割負担のかた 15000円、 2割負担のかた 30000円、 3割負担のかた 45000円
程度となります。 生命保険などの給付対象になることが多いので担当に確認しましょう。

その他

- * 眼内レンズのピントが合う位置は1カ所なので、より快適に見るには眼鏡による補正が必要です
- * 白内障以外の目の病気のため、視力の改善に限界がある事があります